

## NEWS RELEASE

### 目標達成に向け順調に推移、グローバルでの環境改善活動を推進 三菱電機グループ「環境報告 2016」公開のお知らせ

三菱電機株式会社は、三菱電機グループ<sup>※1</sup>の低炭素社会・循環型社会形成に向けた 2015 年度の環境経営の取り組み結果を「環境報告 2016」として、本日から三菱電機オフィシャルウェブサイトで公開します。

2015～2017 年度の具体的な活動目標を定めた「第 8 次環境計画」では、「低炭素社会実現」「循環型社会形成」「自然共生社会実現」「環境経営基盤強化」を重点推進項目として掲げ、初年度の 2015 年度は、目標達成に向け順調に推移し、環境投資額は約 51 億円となりました。

※1：三菱電機、国内関係会社 112 社および海外関係会社 79 社の合計 192 社が対象

「環境報告 2016」(2015 年度の環境経営の取り組み)掲載 URL  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/environment/>

#### 2015 年度の主な取り組みと成果

#### 1. 低炭素社会実現：製品生産時と使用時の両方で温室効果ガスの排出を低減

- (1) 生産時 CO<sub>2</sub> の総排出量は、各種削減施策や生産計画の見直しにより、目標の 140 万トンを超えて 128 万トンに抑制<sup>※2</sup>【目標達成】
  - ・ CO<sub>2</sub> 以外の温室効果ガスの排出量は、海外工場での HFC 削減の促進や、SF<sub>6</sub> の回収装置更新による能力向上などで、計画の 28 万トンを下回る 24 万トン (CO<sub>2</sub> 換算値<sup>※3</sup>) に抑制
  - ・ エネルギー起源 CO<sub>2</sub> の排出量は、高効率な空調・変圧器・LED 照明の採用などの設備の省エネ推進による 1.3 万トンの削減に加え、省エネソリューション導入による消費電力の“見える化”や生産手法改善などで 1.1 万トンを削減
- (2) 製品使用時の CO<sub>2</sub> 削減率は、産業メカトロニクス分野、パワーデバイス分野などの製品の省エネ化により、対象 107 製品で平均 34% まで向上【目標達成】
  - ※2：CO<sub>2</sub> 排出係数は第 8 次環境計画策定時の電気事業連合会 2013 年公表値 原発 2 基稼働時の 0.487t-CO<sub>2</sub>/MWh を使用
  - ※3：CO<sub>2</sub> 以外の温室効果ガスの温暖化係数は IPCC 第二次評価報告書 1995 年公表値を使用

#### 2. 循環型社会形成：資源の有効活用計画は順調に推移

- ・ 製造工程での廃棄物は、分別の徹底、処分委託先の見直しや物流の効率化により有価物化を促進し、海外工場では目標 0.8% に対し 0.67% へ大幅に改善するなど、最終処分率を低減【目標達成】
- ・ 資源投入量は、製品のさらなる小型・軽量化により、2000 年度比平均 39% 削減【目標達成】

#### 3. 自然共生社会実現：環境マインド育成活動の拡大

- ・ 社員リーダーが運営する親子向け自然観察「みつびしでんき野外教室」と「里山保全プロジェクト」への参加人数は、開催地区数の拡大のほか、従来の自然観察以外に、味覚にも訴求するプログラムの追加や地域有識者・NPO の支援による充実化で、2015 年度目標 3,500 人を大幅に超える 4,700 人が参加【目標達成】
- ・ 海外関係会社を含めた環境マインド醸成のための e-learning は、98 社で展開【目標達成】

#### 4. 環境経営基盤強化：国内外 90 製造拠点の環境取り組みレベルを“見える化”し、改善活動を推進

- ・ 「大気」「水質」「化学物質」「温暖化」「廃棄物」の 5 つの分野での取り組みを評価する独自のチェックシートを国内外 90 製造拠点に展開し、各拠点の環境負荷と環境取り組みレベルを“見える化”し、100 点満点で評価【目標達成】
- ・ 高得点を取得した拠点の取り組み内容を国内外の拠点間で共有し、さらなる改善活動をグローバルで推進

## 今後の展開

三菱電機グループでは、創立 100 周年の 2021 年を目標年とする環境経営における長期ビジョン「環境ビジョン 2021」を掲げています。引き続き 2017 年度までの中期活動計画「第 8 次環境計画」を推進していくことで、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現に向けた、豊かな社会づくりへ貢献していきます。

「第 8 次環境計画」掲載 URL : <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2015/0423-a.html>

## 主な活動項目における目標と実績について

| 分類                   | 主な活動項目                                  |                                        | 評価指標                               |            | 2015 年度<br>目標     | 2015 年度<br>実績     | 評価 | 第 8 次環境計画<br>(2017 年度)<br>目標 |
|----------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------|------------|-------------------|-------------------|----|------------------------------|
| 低炭素社会実現に向けた<br>取り組み  | 生産時の CO <sub>2</sub> 排出削減               |                                        | CO <sub>2</sub> 換算排出量              |            | 140 万トン           | 128 万トン           | ○  | 137 万トン                      |
|                      | 製品使用<br>時 CO <sub>2</sub> の<br>排出削減     | 省エネ性能向上による製品<br>使用時 CO <sub>2</sub> 削減 | 平均削減率<br>(2000 年度比)<br>(対象 107 製品) |            | 34%               | 34%               | ○  | 35%以上                        |
|                      |                                         | 製品使用時<br>CO <sub>2</sub> 削減の貢<br>献量拡大  | 削減貢献量<br>(対象 124 製品群)              |            | 7,400 万トン         | 6,700 万トン         | ×  | 9,200 万トン                    |
| 循環型社会形成に向けた<br>取り組み  | 資源有効活用                                  |                                        | 最終処<br>分率                          | 当社         | 0.1%未満            | 0.002%            | ○  | 0.1%未満                       |
|                      |                                         |                                        |                                    | 国内<br>関係会社 | 0.1%未満            | 0.05%             | ○  | 0.1%未満                       |
|                      |                                         |                                        |                                    | 海外<br>関係会社 | 0.8%未満            | 0.67%             | ○  | 0.5%未満                       |
|                      | 資源投入量の削減                                |                                        | 平均削減率<br>(2000 年度比)<br>(対象 64 製品)  |            | 39%               | 39%               | ○  | 40%以上                        |
| 自然共生社会実現に向けた<br>取り組み | 「みつびしでんき野外教室」<br>「里山保全プロジェクト」の<br>継続開催  |                                        | 3 年間累計<br>参加人数                     |            | 年度参加人数<br>3,500 人 | 年度参加人数<br>4,700 人 | ○  | 3 年間累計<br>10,000 人           |
|                      | グローバルでの e-learning<br>実施による環境マインド<br>醸成 |                                        | 実施社数                               |            | 98 社              | 98 社              | ○  | 140 社                        |
|                      | 事業所の生物多様性保全<br>構内生物調査                   |                                        | 実施事業所数                             |            | 9 事業所             | 7 事業所             | ×  | 全 24 事業所                     |
| 環境経営基盤の強化            | 統一基準による環境取組み<br>リスクの評価と海外工場の<br>レベル向上   |                                        | 全拠<br>点評<br>点平<br>均                | 当社         | 90 点              | 95 点              | ○  | 100 点                        |
|                      |                                         |                                        |                                    | 国内<br>関係会社 | 80 点              | 84 点              | ○  | 90 点                         |
|                      |                                         |                                        |                                    | 海外<br>関係会社 | 70 点              | 87 点              | ○  | 80 点                         |